

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和5年8月8日

【観測結果（調査日：8月3、4日）】

8月3日に伊勢湾北部、4日に伊勢湾南部と三河湾の観測を実施しました。

【水平分布（調査点：P3～P17）】

伊勢湾の表面水温は、気温の上昇と日射の影響により高くなっています。一方で、伊勢湾湾口域の表層水温は潮汐による攪乱によって周囲よりも低くなっています。

海面クロロフィル a 濃度は知多半島の先端を中心にピークがみられます。一方で、伊勢湾は全域、特に三重県側の濃度が低くなっています。

【鉛直分布（調査点：P3～P17）】

伊勢湾では、気温の上昇、日射、および河川水の影響で高水温・低塩分の軽い水塊が表層を覆っています。その結果、成層が発達しており、鉛直方向の海水交換が妨げられています。さらに、湾奥（P3）から湾央（P15）までの水深 15m 以深の水塊には、外海水の進入がみられず、酸素供給が極めて少ないため、貧酸素水塊（酸素濃度 30%以下）が分布しています。一方で、底層の水は栄養に富んでいるため、クロロフィル a 濃度は、この水塊と表層水との境界線となる水深 10m～15m を中心に高くなっています。



